

<事業名>

1. 会計処理に関する事項の処理及び財務に関する指導
2. コンプライアンスに関する事項の適正な処理
3. 全員で取り組む会員拡大の実施
4. 関係各種諸団体との連携
5. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加
6. SDG s の推進と活用
7. その他

<事業概要>

1. 会計処理に関する事項の処理及び財務に関する指導
 - (1) 公益法人会計基準をもとにL O Mの会計処理を行い、各委員会の財務会計の指導、助言を行う。
 - ・ 4月、9月、10月、12月に予算修正を行いました。
 - (2) 各員会の予算書及び決算書について、議案上程マニュアルに沿って審査と指導を行う。
 - ・ 予算書に関して、個々の内訳や科目を確認し、適切な指導を行いました。
 - ・ 決算書に関して、処理を行うにあたって領収書と支払申請書に不備がないかを確認しました。
 - (3) 各事業の会計処理は、財務局の証人又は指導のもと行う。
 - ・ 領収書及び支払申請書の適切な処理と不備があった際は担当者へ指導しました。
2. コンプライアンスに関する事項の適正な処理
 - (1) 各議案におけるコンプライアンスチェックシート作成を徹底する。
 - ・ 上程書類全てにおいて、コンプライアンスチェックシートの添付があるか確認し記載内容の確認と指導を行いました。
 - (2) 各種承諾書並びに契約書取り交わしの確認を徹底する。
 - ・ 映像・ポスター等作成依頼承諾書及び講師等出演依頼承諾書の取り交わしが必要な事業に関して、原本の提出を求め、保管を行いました。
 - (3) 財政審査会議の実施
 - ・ 各委員会の担当者を集め、理事会前に財政審査会議を行い、資料の確認を徹底しました。
3. 全員で取り組む会員拡大の実施
内 容：新入会員候補者の情報を拡大L I N Eで共有し、会員拡大に結びました。
4. 関係各種諸団体との連携
内 容：公益法人として関わる関係各種諸団体と連携しました。

5. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加

内 容：第54回山形ブロック大会天童大会へ参画し、大会を通じて出向者の支援を行いました。

6. SDGsの推進と活用

内 容：ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に基づき、社会的信頼のある組織であり続けられるよう財政面と法令遵守の面において、メンバーを支援しました。

7. その他

<伊藤副理事長（財務局長兼務）コメント>

適正な財務処理と法令遵守を管理、指導する立場として予算や決算及びコンプライアンスに関して1年間メンバーに指導を行ってきました。また、財政審査会議を通して財政面だけでなく事業構築の一助となるような指導も行ってきました。財務局という視点からみた計画書や運動は、これまで私が経験してこなかった部分であり、私自身成長できた1年となりました。この経験を活かし様々な側面から青年会議所運動を見つめ直し、地域から信頼される天童青年会議所であり続けられるよう次年度へ引き継いでいき組織の成長に貢献できるよう努めて参ります。

事務局

事務局長：武田 康正 会務セクレタリー：伊東 亮
事務局次長：窪木 太一 会務セクレタリー：押野 将太
会務：野口 勇樹

<事業名>

1. 本会議所運営の総括
2. 広域まちづくり協議会4LOM合同例会の開催
3. 公益社団法人日本青年会議所AWARDS JAPAN 2021 褒賞申請
4. 公益社団法人日本青年会議所、東北地区協議会、山形ブロック協議会との連携調整
5. 災害時発生時における対外・対内連絡調整
6. 災害時支援・受援マニュアルの管理及びリストの作成
7. 渉外業務の全般
8. 総会資料の作成
9. 各種大会への参加促進
10. 事務所利用及び備品管理に関する調整
11. 全員で取り組む会員拡大の実施
12. 関係各種諸団体との連携
13. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加
14. SDGsの推進と活用
15. その他

<事業概要>

1. 本会議所運営の総括

内 容：対内外への迅速な連絡調整、及び提出物の期限厳守、規律ある組織運営を行いました。

2. 広域まちづくり協議会4LOM合同例会の実施（例会）

実施日時：2021年3月9日（火）

場 所：WEB（Zoomにて開催）

講 師：Y-Bizセンター長 富松 希 様

参 加 者：公益社団法人山形青年会議所 67名

公益社団法人天童青年会議所 29名

一般社団法人山辺青年会議所 7名

公益社団法人上山青年会議所 29名

合計 132名

内 容：Zoomを利用し、アフターコロナにおける地域や企業の取り組みについて講演していただきました。また、グループディスカッションにより、各LOMと交流を図り、過去の事例をもとにその解決策について話し合いました。メンバーも青年経済人としての今後の心構えや、メンバー間での企業マッチング等、地域や企業の課題解決の一助となり、最終的

には未来のまちづくりに結び付けることができました。

3. 公益社団法人日本青年会議所AWARDS JAPAN 2021 褒賞申請

内 容：褒賞事業の担当者と連携し、褒賞申請を行いました。また、過去の入賞事例を参考資料として活用し、申請時の事業詳細を担当したメンバーとともに作成しました。

申請事業：地域社会向上プログラム

2021年度7月委員会事業「未来に向かって～夜空に輝く希望の花火～」

4. 公益社団法人日本青年会議所、東北地区協議会、山形ブロック協議会との連携調整

内 容：WEB開催時にパブリックビューイングを行い対応してきましたが、一部事務局内での連携がうまくいかず、各種会議・セミナー・大会登録の連絡が遅くなり、早く伝えることができませんでした。

5. 災害時発生時における対外・対内連絡調整

内 容：新型コロナウイルス感染症対策により支援要請はありませんでしたが、迅速に対応できるよう備えていました。

6. 災害時支援・受援マニュアルの管理及びリストの作成

内 容：災害支援・受援マニュアルのリストを作成し、メンバーリストに記載することで、災害時に対応できるように備えていました。

7. 渉外業務の全般

内 容：関係諸団体や各青年会議所との連絡を担当者に迅速に伝え、送付物や出欠の回答を迅速に対応しました。

8. 総会資料の作成

内 容：関係資料を取りまとめ、対内外と連絡調整を実施し、総会資料を作成しました。

9. 各種大会への参加促進

内 容：各種大会の意義や魅力をSNSにて発信しました。電話での呼び掛けをし、参加促進しました。

- ・京都会議（WEB開催）

各自YouTubeにて閲覧してもらいました。

- ・サマーコンファレンス（WEB開催）

松伯亭あづま荘にてパブリックビューイングを行いました。（参加者：8名）

- ・東北青年フォーラム in 郡山（WEB開催）

各自YouTubeにて閲覧してもらいました。

- ・第70回全国大会とちぎ宇都宮大会（参加者：10名）

10. 事務所利用及び備品管理に関する調整

内 容：事務所内の美化に努めてまいりましたが、資料の整理が一部行えませんでした。

11. 全員で取り組む会員拡大の実施

内 容：委員会終了後の直会の場で、候補者リストを作成し、情報を共有しました。

12. 関係各種諸団体との連携

内 容：送付物など迅速に対応し、各種会議に参加しました。

13. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加

内 容：パブリックビューイングの設営を行ない、また、山形ブロック大会天童大会では事務局全員が参加し、出向者のファンクションに積極的に参加しました。

14. SDGsの推進と活用

内 容：4 LOM合同例会や各種交流イベントにて各種関係諸団体とパートナーシップを活性化することができました。

15. その他

<森谷専務コメント>

昨年に続き、様々な制約の中での活動でしたが、4 LOM合同例会をZ o o mで行い、サマーコンファレンスへのWEB参加や、全国大会へのハイブリッド参加など、コロナ禍ならではの事務局の活動となりました。初めての事務局で戸惑いもあり、経験者の意見を聞きながら活動をすべきだったと反省をしています。次年度はコロナから回復し、青年会議所運動の行い方もさらに模索されると思いますが、状況に応じた組織運営を行っていただきたいと思います。

<武田事務局長コメント>

4 LOM合同例会では2年連続中止するのではなく、コロナ禍でもできる手法を考え、実行しました。全てが初めてのことで戸惑ってしまった部分や、うまくいかず改善すべき点なども多く見受けられた例会でした。今後は、反省点を次の世代に引継ぎをし、いかなる困難な状況下でも行える体制の構築が必要だと思えます。

また、今年は各種大会や様々なイベントが中止ではなく、コロナ禍でもできる限り実行されました。例年と違った対応や、急な変更により戸惑ってしまい、メンバーにうまく案内できない部分も多々ありました。今後このような状況がいつまで続くかわかりませんが、臨機応変に対応できる組織運営を志し、日々精進していきたいと思います。

総務広報委員会

委員長：三浦 真人 委員：東海林昭宏
副委員長：佐藤 元一 委員：門脇 皓嗣
幹 事：黒田 芳徳 委員：本田 孝

<事業名>

1. 総会の実施及び議事録の作成
2. 常任理事会・理事会の運営及び議事録の作成
3. 新年会の開催
4. 役員選考委員会委員選挙の実施
5. アニュアルレポート（出向者報告の取り纏めを含む）事業の開催
6. 会員（OB、賛助会員含む）データの管理及び名簿作成
7. メンバー間の円滑な情報伝達網の構築
8. 市民に広く行き渡る広報活動と情報発信
9. 法令を遵守した情報公開
10. 各種事業におけるセレモニーの運営及び実施
11. 全員で取り組む会員拡大の実施
12. 関係各種諸団体との連携
13. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加
14. SDGsの推進と活用
15. その他

<事業概要>

1. 総会の実施及び議事録の作成

1-1 公益社団法人天童青年会議所 1月通常総会

実施日時：2021年1月20日（水）19：15～20：45

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 祥瑞鶴の間

参 加 者：LOMメンバー 22名

委任状出席 19名

合計 41名

内 容：上記日程において総会を開催し、議事録を作成しました。

決議事項：第1号議案 2020年度 事業報告承認の件

第2号議案 2020年度 収支決算報告承認の件

第3号議案 2021年度 事業計画承認の件

第4号議案 2021年度 予算書承認の件

第5号議案 特定資産取り崩しの件

第6号議案 第54回山形ブロック大会天童大会全員登録の件

1-2 公益社団法人天童青年会議所 9月通常総会

実施日時：2021年9月6日（月）19：20～21：00

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 祥瑞鶴の間

参加者：LOMメンバー 26名

委任状出席 15名

合計 41名

内 容：上記日程において総会を開催し、議事録を作成しました。

決議事項：第1号議案 2022年度 理事予定者及び次年度理事選任の件

第2号議案 2022年度 理事長候補者選定承認の件

第3号議案 2022年度 監事予定者及び次年度監事選任の件

2. 常任理事会・理事会の運営及び議事録の作成

2-1 常任理事会の運営

- (1) 会場設営及び開催に伴う事務所利用制限の周知を行いました。
- (2) 常任理事会資料の事前配信を行いました。

2-2 理事会の運営及び理事会議事録の作成

- (1) 会議資料の取り纏めを行いました。
- (2) 理事会資料の事前配信を行いました。
- (3) 会議資料の受付
 - ・ 会議資料は完成された電子資料のみを期日まで受け付けました。
 - ・ 理事会の充実を図るために、添付資料は原則PDFファイルでの提出とし、リンク付けを完了した状態で受け付けました。
 - ・ 財政審査会議における財務局の補助を行いました。
 - ・ 審議の際は、資料訂正後に承認された場合、訂正した資料を即時提出してもらいました。
- (4) 会議の運営
 - ・ 議案上程にあたっては、会議次第にタイムスケジュールを明記し、円滑な進行の一助としました。
- (5) 議案上程スケジュール
 - ①理事会7日前 資料提出日とし締切日時の連絡（総務広報委員会より）を行いました。
 - ②理事会5日前 資料受付の締切としました。
 - ③理事会3日前 電子資料の配布を行いました。
- (6) 議事録の作成
 - ・ 法令で定めるところにより作成し翌月の理事会に提出しました。
- (7) 各委員会議事録
 - ・ 各委員会を必ず毎月1回以上開催し、議事録を毎月理事会へ提出しました。

3. 新年式典の開催

事業名：新年式典の開催（例会）

内 容：新型コロナウイルス感染症拡大に伴い開催を中止としましたが、理事長所信の動画を作成しホームページ上で配信しました。

4. 役員選考委員会委員選挙の実施

実施日時：7月15日（木）19：00～21：30

場 所：将棋むら 天童タワー

参 加 者：選挙権保有者38名

（正会員であり、例会30%以上出席者）

被選挙権保有者22名

（正会員であり、例会60%以上出席者且つ3年以上在籍もしくは理事経験者、但し理事長及び理事長経験者は除きます）

内 容：新型コロナウイルス感染症対策として、投票者を分散させるよう投票日以外に期日前投票日を2日間設けて選挙設営を行いました。メンバーの総意が反映された次年度体制構築のための役員選考委員会委員を選出することができました。

5. アニュアルレポート（出向者報告の取り纏めを含む）事業の開催

事 業 名：アニュアルレポート事業の実施（例会）

実施日時：2021年11月15日（月）19：30～20：58

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 祥瑞鶴の間

参 加 者：LOMメンバー 25名

特別会員 1名

合計 26名

内 容：2021年度の運動から得た学びや反省点をメンバーで共有しました。出向者報告書、ブロック大会検証報告対談、各委員会の事業報告をとおして、次年度の活動への意欲を向上することができました。

6. 会員（OB、賛助会員含む）データの管理及び名簿作成

6-1 OB会員及び物故会員の把握及びデータ管理

内 容：OB会員及び物故会員の情報収集を行い、データの管理を行いました。

6-2 会員名簿の作成、データ管理及びメーリングリストの整備

内 容：会員調査票を用いて会員名簿の作成を行いました。また、年当初に新入会員を含めたメーリングリストを作成し、整備しました。

7. メンバー間の円滑な情報伝達網の構築

（1）メンバー間の連絡及び情報交換ツールとしてメーリングリストを整備しました。

（2）緊急時など迅速な情報伝達が求められる時に備え、LINEグループを整備しました。

（3）翌月の各種事業日程をまとめた月報を、毎月末日にメーリングリスト、LINEグループにて配信しました。

- (4) 諸情報は、メールリストを活用しましたが、パソコンを持たないメンバーにおいても確実な連絡を図るため、SNSやスマートフォンアドレス等を併用して情報伝達を行いました。

8. 市民に広く行き渡る広報活動と情報発信

8-1 地域向け月刊情報誌（サンデータイムス）を利用した情報の公開

内 容：多くの天童市民の目に入るよう、市内全戸配布を行っているサンデータイムスを利用し、天童青年会議所の運動や事業等を発信しました。

| | |
|-----------------------------------|---------------|
| 天童市内ポスティング（天童市内全戸配布） | 22,900部 |
| 東根市内ポスティング（神町地区全戸・東根市中央） | 9,000部 |
| <u>その他（山形、村山、寒河江、尾花沢、河北）公共施設等</u> | <u>3,300部</u> |
| | 合計35,200部 |

（毎月第2日曜日発行、ポスティングは第1日曜日より開始）

【こま第149号（春号）】

発行月：2021年2月 全段11段（W241×H377） 2ページ

理事長挨拶、公益社団法人天童青年会議所2021年度諸情報、メンバー紹介、2021年度組織図、第54回山形ブロック大会天童大会関連記事、新入会員募集記事 他

【こま第150号（秋号）】

発行月：2021年9月 全段11段（W241×H377） 2ページ

第42回全国中学生選抜将棋大会（第23回女子の部）関連記事、協賛金協力企業一覧、第54回山形ブロック大会天童大会御礼記事、新入会員インタビュー 他

8-2 ホームページを利用した情報の公開

(1) 天童青年会議所公式ホームページの更新

内 容：天童青年会議所の公式ホームページの更新を随時行いました。

- ①各種例会、事業等の告知・報告をスピーディーに行えるシステム構築を行いました。
- ②ホームページ上で動画を発信しました。
- ③法令を遵守した情報開示を行いました。
- ④その他

(2) 対外的な広報活動

内 容：公開例会等で、各委員会が対外的な広報活動を必要とする際の情報発信を総務広報委員会が行いました。

- ①ホームページ・SNS等での情報発信を行いました。
- ②地域に届ける工夫した情報発信として、例会等の事業だけでなく、様々な活動の様態を配信しました。

9. 法令を遵守した情報公開

法令を遵守した情報開示（ホームページでの開示を含む）

内 容：下記項目をホームページ上で市民が閲覧できるように開示しました。

- ①定款
- ②役員名
- ③組織図
- ④事業報告書
- ⑤収支決算書
- ⑥正味財産増減計画書
- ⑦貸借対照表
- ⑧財産目録
- ⑨事業計画書
- ⑩収支予算書

10. 各種事業におけるセレモニーの運営及び実施

(1) 例会におけるセレモニーの運営を行い実施しました。

①開会セレモニー（15分）

- ・理事長挨拶
- ・該当事業担当委員長挨拶
(趣旨説明含むため例会内で行う場合もありました)

②閉会セレモニー（15分）

- ・理事長挨拶（理事長の意向で割愛する場合もありました）
- ・アテンダンス及び優良委員会の発表
- ・連絡報告依頼事項（次回例会PRを含む）
- ・監事講評

③3分間スピーチ

※屋内対内例会であった2月第一例会及び、11月第一例会の開会セレモニーにおいて、3分間スピーチを行いました。

発 表 者【2月第一例会】

森谷 恵一 テーマ「これからの仕事のビジョン」

鈴木 基弘 テーマ「これからのJC生活でやりたいこと」

【11月第一例会】

山口 将慎 テーマ「今年1年、力強く前へ考動したこと」

増子 貴彦 テーマ「今年1年、力強く前へ考動したこと」

(2) 例会セレモニーの司会は総務広報委員会が行いました。

(3) 庶務規定6条に基づき、例会を欠席、遅刻または早退する際の連絡は、当日正午まで総務広報委員会又は例会担当委員会が受けつけました。

(4) 庶務規定6条に基づき、例会及び会議の出席率を理事会に報告しました。

(5) 庶務規定8条に基づき、例会及び特定事業において、出席率30%未満の正会員に対し出席の

呼びかけを適宜行いました。

(6) 庶務規定 9 条に基づき、メイクは事前に理事長を中心として常任理事会に諮り理事会にて審議する。

・メイクが無かった為、理事会にて審議しませんでした。

(7) 庶務規定 10 条に基づき、ネームプレート、バッジ、ネクタイの着用を励行しました。但し、その用意が出席に支障をきたす場合には未着用でもよいものとししました。

(8) 庶務規定 11 条に基づき、1 年間を通じ事業内容及び出席率が優秀な委員会、及び優良メンバーを理事会の決定により表彰しました。

(9) 庶務規定 15 条に基づき、財務局長へ欠席にともなうペナルティーの計算を行いました。

(10) 例会出席の表の作成、及び集計を行いました。

11. 全員で取り組む会員拡大の実施

内 容：拡大LINEで情報を共有し、会員拡大に繋げました。

12. 関係各種諸団体との連携

内 容：1 月第一例会が新型コロナウイルス感染症の影響により中止になったため、関係各種諸団体と連携を密にとり合い、迅速に中止の案内を送付しました。

13. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加

13-1 出向者への支援

内 容：第 54 回山形ブロック大会天童大会に参加し出向者への支援を行いました。

委員会メンバー出向先

- ・公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会 ブロック大会運営委員会
- ・公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会 事務局

13-2 各種大会への積極的な参加

内 容：委員会内で各種大会の情報を共有し、下記大会へ参加しました。

- ・京都会議 (WEB)
- ・サマーコンファレンス 2021 (ハイブリッド)
- ・東北青年フォーラム in 郡山 (WEB)
- ・第 70 回全国大会とちぎ宇都宮大会 (ハイブリッド)

14. SDGs の推進と活用

内 容：1 月第一例会で「パートナーシップで目標を達成しよう」を掲げ事業構築しましたが、中止となり推進、活用することができませんでした。また、11 月第一例会では、「持続可能な開発に向けて、実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する」を掲げ事業を構築し、1 年間の振り返りを通して次年度への活動意欲を向上させることで、組織の更なる成長に繋げました。

15. その他

<伊藤副理事長（財務局長兼務）コメント>

各種会議の設営や各事業の記録、担当例会など一年間を通じて活動していかなければならない委員会であり、委員長を中心に委員会メンバーで全員で取り組むことが出来ました。また、定款改訂に伴う様々な変更、社会情勢の変化に伴う事業構築の対応など例年以上に担いの多い1年となりましたが、委員会として柔軟に対応でき、委員会メンバー個々の成長に繋げることが出来ました。この経験を引き継いでいくとともに、自分の成長の糧とし次年度以降の活動への意欲向上に繋げ、これからも挑戦し続けていってほしいと思います。

<三浦委員長コメント>

昨年定款が改訂されたことにより、総会や理事会の運営方法も変わり委員会でも手探りで事業構築していく事から始まった1年でした。そのおかげで定款への理解が深まり、LOMの下支えを担う総務広報委員会として必要不可欠な知識を身に着けることができました。また、コロナ禍でもあり、新年式典が中止となりましたが、市民の方々へ当会議所の運動や組織体制を理解してもらうための代替案の構築など臨機応変に対応した委員会運営ができました。いかにできる方法を探求していくかという考え方を自分自身も大切にしていくとともに、しっかり引き継いで参ります。

将棋のまち創造委員会

委員長：片桐 一樹

委員：三宅 秀典

副委員長：関東 英之

委員：今野 未菜

幹事：近藤阿由良

委員：渋谷 祐信

委員：野口 賢吾

<事業名>

1. 第42回全国中学生選抜将棋選手権大会（第23回女子の部）の開催及び県、地区予選会への協力
2. 全国中学生選抜将棋選手権大会のさらなる発展を目指した運営の模索
3. 将棋関連事業全般への協力
4. 天童桜まつりへの協力（天童桜まつり関連事業への参加を含む）
5. 全員で取り組む会員拡大の実施
6. 関係各種諸団体との連携
7. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加
8. SDGsの推進と活用
9. その他

<事業概要>

10. 第42回全国中学生選抜将棋選手権大会（第23回女子の部）の開催及び県、地区予選会への協力

事業名：第42回全国中学生選抜将棋選手権大会（第23回女子の部）（例会）

実施日時：2021年8月2日（月）～4日（水）

場所：ほほえみの宿 滝の湯

主催：天童市

公益社団法人日本将棋連盟

公益社団法人天童青年会議所

後援：文化庁

山形県教育委員会

天童市教育委員会

天童温泉協同組合

天童商工会議所

東日本旅客鉄道株式会社天童駅

毎日新聞山形支局

NHK山形放送局

山形新聞・山形放送

山形県将棋駒協同組合

参加者：LOMメンバー 33名

特別会員 1名

| | |
|------------|------|
| 来賓 | 30名 |
| 参加選手 | 50名 |
| 参加選手(女子の部) | 45名 |
| 合計 | 158名 |

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年より観戦できる人数を制限して開催しました。

大会結果：第42回全国中学生選抜将棋選手権大会(参加者数 50名)

| | | | | |
|----------|----------|------------|------------|----|
| 優勝 | 田中 叡 さん | (大阪) | 島本町立第一中学校 | 1年 |
| 準優勝 | 此本蓮士朗 さん | (東京) | 武蔵野市立第一中学校 | 3年 |
| 第3位 | 清水 知己 さん | (沖縄) | 沖縄カトリック中学校 | 3年 |
| 第4位 | 上条 陸人 さん | (群馬) | 桐生市立相生中学校 | 3年 |
| 第23回女子の部 | | (参加者数 45名) | | |
| 優勝 | 木村 朱里 さん | (滋賀) | 光泉カトリック中学校 | 1年 |
| 準優勝 | 油本 綾花 さん | (富山) | 魚津市立西部中学校 | 1年 |
| 第3位 | 松下 舞琳 さん | (熊本) | 熊本市立城南中学校 | 3年 |
| 第4位 | 梅津 美琴 さん | (東京) | 文京区立第六中学校 | 2年 |

1-1 交流事業の企画・運営・実施

内 容：通常開催の場合、会場内で行う選手同士の交流事業を、オンライン開催の場合選手とプロ棋士とのオンライン交流事業を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施を中止しました。

1-2 上記大会の県、地区予選への協力

(1) 第42回全国中学生選抜将棋選手権大会 天童地区予選

実施日時：2021年5月29日(土)

場 所：天童市将棋交流教室

参加者：選手 4名

大会結果：

| | | | |
|-----|----------|-----------|----|
| 優勝 | 菅野 元杜 さん | 東桜学館中学校 | 3年 |
| 準優勝 | 本間 俠 さん | 天童市立第二中学校 | 1年 |
| 第3位 | 本間 駕偉 さん | 天童市立第二中学校 | 3年 |

内 容：優勝した菅野元杜さんの本大会出場が決定しました。

(2) 第42回全国中学生選抜将棋選手権大会 山形県予選

実施日時：2021年5月30日(日)

場 所：天童市将棋交流教室

参加者：選手 18名(男子：14名 女子：4名)

大会結果：

<男子の部>

| | | | |
|-----|----------|------------|----|
| 優勝 | 清野 達嗣 さん | 寒河江市立陵南中学校 | 3年 |
| 準優勝 | 安在 康平 さん | 鶴岡市立第一中学校 | 3年 |
| 第3位 | 無着 大希 さん | 山形市立第五中学校 | 2年 |

<女子の部>

| | | | |
|-----|----------|-----------|----|
| 優勝 | 八島 仁乃 さん | 米沢市立第一中学校 | 1年 |
| 準優勝 | 黒沼 智翔 さん | 東根市立第一中学校 | 3年 |
| 第3位 | 沼澤 歩音 さん | 新庄市立新庄中学校 | 2年 |

内 容：山形県予選会男子の部上位2名の清野達嗣さんと安在康平さん、女子の部上位2名の八島仁乃さんと黒沼智翔さん、以上4名の本大会出場が決定しました。

2. 全国中学生選抜将棋選手権大会のさらなる発展を目指した運営の模索

2-1 運営の継続・実施

(1) 礼を重んじる大会

内 容：服装をはじめとする大会における注意事項、座り方やお辞儀の仕方といった礼儀作法などの文書を選手及び付添人向けに事前配布し、地区の代表選手としての心構えをもって大会に臨んでいただきました。また、開会式リハーサルにおいては挨拶やお辞儀の仕方を重点的に確認し、代表選手としての自覚を促しました。

(2) 天童市内中学生から運営面での協力をいただく

内 容：当初、下記の予定で天童市内中学生よりご協力いただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加を辞退されました。大会をより盛り上げていただくため、プロピアニスト近藤阿由良様より開会式にて国歌ならびに大会テーマソング「H e r o」を演奏いただきました。

(3) 大会歴史垂れ幕の展示

内 容：大会期間中舞鶴の間にて第1回大会から第41回大会までの歴史垂れ幕を掲示しました。

(4) 書き駒師、彫り駒師による駒の実演及び販売（協力：山形県将棋駒協同組合）

実施日時：2021年8月3日（火） 13：30～17：30

場 所：舞鶴の間 入口前

内 容：書き駒師、彫り駒師による駒の実演及び販売（駒のキーホルダー、天童駒の掲示、将棋駒製作パネルの展示）

2-2 発展を目指した運営の模索

(1) 実行予算の精査

内 容：新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、関係者が安心して参加できる事業になるよう、事業内容を精査し予算に反映しました。感染症拡大防止を目的として天童市よりご協力いただき、負担金を増額していただきました。

(2) 協賛金収集の精査

内 容：第41回大会の中止を踏まえ協賛企業リストを精査し、効果的に協賛金をいただけるよう各企業に協賛金依頼を行いました。その結果、多くの金額をご協賛いただきました。

(3) 運営マニュアルの精査（新型コロナウイルス感染症拡大防止）

内 容：通常の運営マニュアルに加え、新型コロナウイルス感染症防止・対策ガイドラインを作成しました。事前に参加者および付添人に通達し、大会期間中感染対策を徹底していただきました。結果、感染者を出すことなく大会を終えることができました。

(4) 市民に広く知れ渡る大会情報の発信

①Y o u T u b eを活用して、大会1カ月前から大会最終日まで大会の様態を配信し、約9,000回の再生回数を数え、広く大会を発信しました。

②『プロジェクト名：未来のプロ棋士たちが将棋のまち天童に集う！全国中学生選抜将棋選手権大会を広く発信し、さらに発展させたい』

・大会発信力の強化を目的としてクラウドファンディングを活用しました。大会の運営資金および大会発信の広報費の用途で行いました。

3. 将棋関連事業全般への協力

・天童市民将棋大会・大山杯争奪将棋大会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4. 天童桜まつりへの協力（天童桜まつり関連事業への参加を含む）

4-1 将棋の女王コンテスト運営の協力

実施日時：2021年4月

場 所：天童ターミナルビル「パルテ」

内 容：審査会運営補助

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4-2 人間将棋関連事業への協力

天童桜まつりエシカルサポートの実施（例会）

実施日時：2021年4月17日（土）・18日（日）

場 所：4月17日（土）

①みんなDE創る思いで広場（舞鶴山）※天童青年会議所45周年記念事業用地

②舞鶴山～愛宕沼～天童公園

4月18日（日）

①中央公園

②倉津川（市役所通り） 範囲：龍王橋～旭橋まで

対 象 者：LOMメンバー 31名

メンバー家族 10名

内 容：当初、将棋の魅力に触れるコーナーの実施（例会）を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から天童桜まつりが中止となり、参加者に天童桜まつりへの理解を深めてもらう目的で、来場者に天童桜まつりを快適に過ごしていただけるよう関係各所の美化活動を実施しました。

5. 全員で取り組む会員拡大の実施

内 容：拡大専用LINEで拡大情報を共有しました。

6. 関係各種諸団体との連携

内 容：天童桜まつり実行委員会として天童市、天童市商工会議所はじめ関係諸団体と事務局会議を行い、天童桜まつりの今後の方向性について議論を交わしました。また、日本将棋連盟様との会議については、新型コロナウイルス感染症対策を目的にZoomを活用した会議を実施しました。

7. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加

内 容：第54回山形ブロック大会天童大会へ積極的に参加しました。また、下記各種大会へも積極的に参加し、多くの気づきと学びを得ることができました。

・京都会議（WEB）

・第70回全国大会とちぎ宇都宮大会（現地参加）

8. SDGsの推進と活用

内 容：ゴール11「住み続けられるまちづくりを」とゴール15「陸の豊かさを守ろう」を目指し天童桜まつりエシカルサポートを開催し、天童桜まつりに関わる会場を清掃整備し、天童を訪れる人びとが快適に過ごしてもらえるよう美しい景観を守りました。また、第42回全国中学生選抜将棋選手権大会では、ゴール4「質の高い教育をみんなに」を目指し、将棋の対局から礼儀作法や他者を思いやる気持ちを学び、得た学びが他参加者にも伝播し、大会を通じて自己成長へとつなげてもらいました。

9. その他

<渡部副理事長コメント>

新型コロナウイルス感染症が尾を引く中、2回の例会を担当させていただき4月例会で計画していた桜まつりへの協力事業が中止となりましたが、天童桜まつりエシカルサポートと題し方向転換して例会を中止にしなかったことは片桐委員長の手腕を発揮できたからだと感じております。参加したメンバーは、改めて天童桜まつりの歴史を理解し新たな気づきを得ることができて来年開催する桜まつりで、より違う角度で桜まつりに参加できるものだと確信しております。8月例会の全国中学生選抜将棋選手権大会でも、新型コロナウイルス感染症の壁が立ちはだかりましたが、片桐委員長が委員会メンバーを引っ張り、委員会メンバーも自分の出来るところを一生懸命考動した結果が、感染者を出さずに大会を無事に大成功させたのだと思います。来場者からも温かいメッセージや感謝のお言葉をいただき、コロナ禍ではありましたが大会を開催して本当に良かったと思っております。次年度以降も、将棋のまち天童が広く市民に発信していけるように邁進していきたいと思っております。

<片桐委員長コメント>

天童で最も重要な地域資源の1つである将棋に対して未だかつてなく真剣に向き合った1年になりました。新型コロナウイルス拡大に端を発し活動が制限されたことで、逆に天童の魅力をこれまでと違う角度で発見することができました。歴史ある事業である天童桜まつりについては、これまでの事業に参画する立場から、由緒ある歴史を理解し、次年度に向けてより良い事業構築に向けて意識を高め、メンバー各々がステップアップできたのではないかと思います。また、45周年記念事業をはじめとする天童青年会議所の先輩諸氏の歩みを感じ、今後の地域発展にむけて意識を高めることができたのではないかと思います。今後天童桜まつりをはじめ天童を訪れる人々のために美化活動を行い、市内の景観の良さを再確認することができたかと思えます。また、将棋のまちとして昨年貴重な機会を失ったことで、対外から今年度天童と将棋に対する期待感がより高まりました。そして、その期待感はクラウドファンディングやYouTube配信での数字に表れ、参加者や付添人をはじめ大会関係者からいただいた多くの感謝の言葉がそれを物語っていたと思えます。2021年度を新たな契機とし、今後も天童を将棋の聖地として確固たる存在とするべく精進していくことが必要です。

地域活性化委員会

委員長：須藤 晃 委員：高橋 勇介
副委員長：東谷 敬信 委員：奥山 浩明
幹 事：鈴木 基弘 委員：渡邊 正孝
委員：土屋麟太郎
委員：本間 光
委員：佐藤 一穂

<事業名>

1. 組織力向上と会員の意識向上を図る事業の開催
2. J C杯球技大会の開催
3. 天童ひまわり園の訪問
4. まちづくり事業に関わる諸団体との連絡調整及び協力
5. 全員で取り組む会員拡大の実施
6. 関係各種諸団体との連携
7. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加
8. S D G s の推進と活用
9. その他

<事業概要>

1. 組織力向上と会員の意識向上を図る事業の開催

事業名：ブロック大会主管及び会員の意識向上を図るセミナー（例会）

実施日時：2021年2月22日（月）19：00～21：09

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 祥瑞鶴の間

講 師：柴崎 稔 先輩

参加者：LOMメンバー 28名

特別会員 1名

合計 29名

内 容：山形ブロック大会天童主管を好機と捉え、天童青年会議所第42代理事長の柴崎稔先輩よりご講演をして頂き、青年会議所運動へ向けた意識向上を目的のセミナーを行いました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で新年会が中止となり、天童青年会議所OBとの交流の機会がなくなったため、この例会の機会を活かし星野浩志OB会長よりメンバーへのご挨拶を頂戴しました。

2. J C杯球技大会の開催

事業名：第50回J C杯球技大会（委員会事業）

実施日時：2021年11月3日（水）・7日（日）

場 所：天童市スポーツセンター 多目的広場

主 管：天童市サッカー協会

参 加 者：LOMメンバー 13名（3日・7日の延べ人数）

特別会員 1名

選手 68名

合計 82名

大会参加チーム 5チーム

内 容：初日には、開会式にて天童市サッカー協会の池田会長へ功労賞の表彰を行いました。また、第50回を記念してカップを新調しました。二日目には、閉会式を行い、「まいづるFC」が連覇をいたしました。

大会結果：第1位 まいづるFC

第2位 北斗FC

第3位 つばさキッカーズ

第4位 天童中部サッカースポーツ少年団

第5位 津山サッカースポーツ少年団

3. 天童ひまわり園の訪問

3-1 ひまわり園様より次年度に向けたメッセージ

実施日時：2021年11月11日（木）14:00～15:00 （撮影）

2021年11月12日（金）12:30～ （配信）

場 所：障害福祉サービス事業所天童ひまわり園 （撮影）

天童青年会議所LOM公式LINEグループ（配信）

協 力：障害福祉サービス事業所天童ひまわり園 施設長 細矢 義博 様

内 容：訪問自体は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で中止となりました。

代替手段として、委員会でひまわり園へお伺いして細矢施設長様より次年度へ向けてのメッセージをLOMのLINEグループにて配信を行いました。

3-2 ひまわり園のコーヒー購入

実施日時：2021年12月

協 力：障害福祉サービス事業所天童ひまわり園

内 容：ひまわり園で製造をしているコーヒー豆等をPRすると共に多くのメンバーに購入していただくことで支援を行いました。

4. まちづくり事業に関わる諸団体との連絡調整及び協力

4-1 行政や他団体と協同、協力して行う地域活性化事業

事業名：まちづくりへの意識向上セミナー（例会）

実施日時：2021年11月1日（月）19:00～21:45

場 所：天童市立天童中部公民館 2F 集会室

講 師：有限会社小出大佛 代表取締役 小出 浩太郎 様

株式会社DMC天童温泉 旅行事業課 リーダー 鈴木 誠人 様

参加者：LOMメンバー 25名

特別会員 1名

合計 26名

内容：まちづくりについて第一部では小出大佛代表取締役であり、第36代理事長の小出浩太郎様とDMC天童温泉の鈴木誠人様よりご講演をしていただきました。第一部での内容を踏まえ、第二部では講師のお二方より出していただいたまちづくりに関するお題を基にグループワークを行い、インプット後にアウトプットを行うことでより当事者意識をもってもらいました。

4-2 まちづくりに関わる諸団体との連絡調整及び協力

事業名：第9回 天童スノーパークフェスタ

実施日時：2021年2月13日（土）・14日（日）

内容：実行委員会へ参加し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による規模縮小により天童青年会議所の担当部分は中止。

事業名：第10回 天童高原634の松交流イベント

実施日時：2021年5月～6月

内容：新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりイベントは分散開催を行い、天童青年会議所の担当部分は中止。

事業名：第31回 天童夏まつり

実施日時：2021年8月8日（日）・9日（月）

内容：事務局会議へ参加し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により天童青年会議所の担当部分は中止。

事業名：第32回 天童高原祭り

実施日時：2021年8月

内容：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

5. 全員で取り組む会員拡大の実施

内容：委員会内で情報共有を行い、会員増強委員会と連携を行いました。

6. 関係各種諸団体との連携

内容：関係諸団体との会議への参加を通して連携を図りました。

7. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加

内容：委員会内で各種大会への参加促進を行い、メンバーが出向へ参加しやすい環境づくりを

しました。

8. SDGsの推進と活用

内 容：まず、2月例会においては「17. パートナースhipで目標を達成しよう。」を掲げ、このセミナーへ参加することで天童青年会議所メンバーのブロック大会に対する意識を向上させ、主管へ向けての意識を高めるとともに、持続的な地域発展を行えるようにしました。また、9月委員会事業においても「17. パートナースhipで目標を達成しよう。」を掲げ、子供達がスポーツを通じ、仲間や他チームと切磋琢磨することで交流を盛んにしました。次に、天童市サッカー協会と天童青年会議所のパートナーシップのもとJ C杯球技大会を円滑に運営し、両団体の連携を深めました。また、10月例会においては「4. 質の高い教育をみんなに」を掲げ、講師からまちづくりについての知識や考え方を学び、まちづくりに対するメンバーの意識がより向上しました。

9. その他

<高橋副理事長コメント>

昨年より続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、委員会として地域活性化という担いをどのように行うか、悩みながら行動した一年となりました。委員会として多くの関係諸団体と連携する機会が多くありましたが、市内の行事やイベントは軒並み中止。計画した事業においても、大きな計画の変更を余儀なくされました。しかし、感染対策を講じながら計画の試行錯誤を繰り返し、可能な限りの手法を導き出し、実行出来たと感じています。

2月第一例会では地域活性化へのインプットとして、柴崎先輩よりこれまでの経験を踏まえた青年会議所で活動する意義をご講演いただきました。J C I天童として、コロナ禍では久しぶりの集まったの事業ではありましたが、多くのメンバーに参加いただき非常に意味のある例会となりました。9月委員会事業、J C杯球技大会は本年50回目の節目の記念大会となり、この機会に長年引継ぎにもあったトロフィーの新調に踏み切りました。10月第一例会は計画から感染対策のため大きく舵を切った事業ではありましたが、インプットとアウトプットの両面からまちづくりへの意識強化に繋がったと感じています。

人が集まる状況が難しい世の中が続いており、対内事業の色が濃い1年となりました。しかし、地域活性化として大切なのは、市民意識変革団体として多くの人を巻き込むことです。須藤委員長の想いを借りれば、今年1年は多くの「インプット」を行いました。次年度以降、高めた意識や想いを、よりまちの活性化に向けてアウトプット出来ることを期待します。

<須藤委員長コメント>

当初の計画と比べると、2月第一例会と9月委員会事業については日程変更もありましたが、思い通りに開催をすることができました。しかし、コロナ禍ということもありひまわり園への訪問と10月第一例会は年度が始まってから変更を余儀なくされました。そこで、計画内に記載をしていたひまわり園への「訪問」の部分と10月第一例会は「まちづくり」の部分キーワードに、ひまわり園さんへは訪問し

動画を取り配信を行う、10月第一例会はフェスタ形式から講師例会にし今後のJC運動や社会におけるまちづくりの学びの場とするということで達成をしました。

特に10月第一例会はコロナ禍を理由に放棄することもできましたが、赤塚理事長や高橋副理事長の背中を見て、どのような形であれ開催にこぎつけることが出来たことに、少なからず私自身も様々な側面で学びの機会を得られたと思っております。

当初より、諸先輩からは「まちの委員会は一筋縄にはいかないよ」と言われ続けてきました。まさしくその通りになってしまいましたが、地域活性化委員会の事業を通して一人でも多くのメンバーにまちづくりの火を灯せたのであれば本望です。

<東谷副委員長コメント>

新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の年間計画において予定通り行えた事業は2月第一例会のみとなってしまう、9月の第50回のJC杯、そして10月第一例会ともに延期開催ではありましたが、それぞれ無事行うことができ当委員会の担いとして最低限は出来たと思います。しかし、ひまわり園との交流事業やスノーパークフェスタ運営補助といった関係諸団体と連携した活動は中止、あるいは形を変えて行うことになってしまう等、委員会としても不完全燃焼な一面もありました。

しかしながら、須藤委員長の「インプット」と「アウトプット」という考え、本来であれば今年の世界地域活性化委員会委員長として果たしたかった想いは、より高くジャンプするためにまずはしっかり膝に力をためた今年を「インプット」の年と捉え、来年以降メンバーそれぞれが「アウトプット」できる年になれば、須藤委員長の想いも達成されるのではないかと思います。

会員増強委員会

委員長：菊地実穂子

委員：仲野 大輔

副委員長：佐野 峻也

委員：清野 一希

幹事：神村登波子

委員：増子 貴彦

委員：山口 将慎

1. 会員資質向上事業の開催（新入会員セミナーを含む）
2. 会員及び会員家族相互の交流を深める事業の開催
3. 年間を通じた会員拡大運動の推進方法の確立
4. 全員で取り組む会員拡大の実施
5. 関係各種諸団体との連携
6. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加
7. SDGsの推進と活用
8. その他

<事業概要>

1. 会員資質向上事業の開催（新入会員セミナーを含む）

1-1 OJT（On-The-JC Training）の開催

- （1）前編：ようこそ！天童青年会議所へ

実施日時：2月11日（木）19：30～21：00

場所：JCI天童ルーム

講師：理事長 赤塚弘行

参加者：新入会員3名

内容：自身の経験談をもとに青年会議所の魅力や、今年1年間に対する思いをお話いただき、新入会員が年間を通して積極的に事業に参画する意識が芽生えました。

- （2）後編：青年会議所とSDGs

実施日時：3月17日（水）19：30～21：00

場所：JCI天童ルーム

講師：直前理事長 矢口太

参加者：新入会員3名

内容：青年会議所がこれまでSDGsをどのように事業に取り入れてきたのかを事例をもとにお話しいただきました。また新入会員1人ひとりの職種に合わせた事例の紹介を通してSDGsへの理解をより深めることができました。

- （3）番外編：みんなの天童青年会議所

実施日時：各OJT終了後

参加者：2月11日（木）新入会員3名 理事者5名

3月17日（水）新入会員3名 理事者4名

内 容：OJT終了後に新入会員と理事者の交流の場を設けました。座学だけではなく双方向のコミュニケーションを通してメンバー同士親睦を深めました。

1-2 第54回山形ブロック大会主管開催に向けた決起集会

事業名：第54回山形ブロック大会へ向けた決起会（例会）

実施日時：2021年5月17日（月）19：00～20：35

場 所：松伯亭あづま荘 大宴会場

協 力：山形ブロック協議会 副会長 藤岡真伍 君

山形ブロック協議会 ブロック大会運営委員会 委員長 荒生卓真 君

参加者：LOMメンバー 34名

特別会員 1名

35名

内 容：ブロック大会運営委員会委員長とブロック大会実行委員会委員長兩名よりブロック大会へ向けた決意表明をしていただき、当日に向け全体の士気を高めることができました。また、各部会長より現在の進捗状況の報告をしていただき、LOM全体で情報の共有を行いました。

2. 会員及び会員家族相互の交流を深める事業の開催

2-1 事業名：秋☆まるごとお楽しみバスツアー in 天童（例会）

実施日時：2021年9月18日（土）

内 容：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

2-2 事業名：2021 JCI 天童☆食欲と芸術をこねる秋のワークショップ（委員会事業）

実施日時：2021年11月13日（土）13：00～16：00

場 所：高原の里交流施設ぼんぼこ

参加者：メンバー家族 23名

LOMメンバー 22名

特別会員 1名

46名

内 容：中止となった9月第一例会の代替えとして、そば作り体験とアロマクラフト石鹸作り体験のワークショップを主とした事業を開催しました。体験を通して参加者全員が交流を深め、お互いを知ることによって組織としての団結を強めることができました。

3. 年間を通じた会員拡大運動の推進方法の確立

3-1 拡大組織の作成

内 容：全員を拡大運動に巻き込んだ拡大推進方法の確立はできませんでしたが、メンバーから候補者情報を募り、委員会で分担して拡大活動を行いました。

3-2 情報の共有

内 容：拡大専用のLINEグループを作成し、拡大状況を配信し新入会員以外のメンバー全員の情報共有を行いました。

4. 全員で取り組む会員拡大の実施

内 容：委員会内でメンバーから集まった情報を集約し、分担して拡大活動を行いました。

5. 関係各種諸団体との連携

内 容：関係各種諸団体からの要請がなく、連携に至りませんでした。

6. 出向者への支援並びに各種大会への積極的な参加

内 容：委員会メンバー全員が第54回山形ブロック大会天童大会に参加しました。また委員会内で各種大会への参加を呼びかけ、各自参加しました。

7. SDGsの推進と活用

内 容：第2回OJTにて委員会メンバーでSDGsについての学びを得ました。そしてその学びを生かし、事業構築を行いました。2つの事業共に「持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する」を掲げ、5月第一例会ではブロック大会運営委員会、11月委員会事業ではメンバー同士、メンバー家族とのパートナーシップを活性化することができました。

8. その他

<森谷専務コメント>

昨年に続き拡大担当の常任理事として活動してきましたが、コロナ禍のなかで目標の新入会員獲得には至らず、歯がゆい結果となりました。その中で入会された3人の新入会員には、委員長が企画したOJTや事業を通して青年会議所活動の楽しさを知っていただけたと確信しています。拡大なくして青年会議所の未来はありません。次年度以降、多くの新入会員とともに運動を展開していくことを期待します。

<菊地委員長コメント>

新入会員が最初に所属する委員会の委員長として、メンバーを引っ張っていくことに意気揚々として1年をスタートさせましたが、意見をまとめることや指示を出すことの難しさ、一つひとつの発言に対する責任の重さを痛感し、気が付けば委員会メンバーに引っ張っていただき多くの学びを得させてもらった1年となりました。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響に振り回されてしまったこともありましたが、委員会メンバーの力強い思いにより2つの事業を成功させることができました。1人でただ突っ走るだけでは、できることも、事業の質にも限界がありますが、仲間との協力次第で可能性は無限大に広がります。この1年で、人の巻き込み方というものを少しは習得できたのかなと感じています。拡大活動については思うように進まないことも多々あり、目標に近づくことができませんでした。

が、委員会の枠に縛られず来年以降も積極的に拡大活動に協力していきたいと思います。2021年度
会員増強委員会は解散となりますが、今年度培った絆と学びを自信として、来年度以降も一人ひとりが
活躍の場を広げていくことを期待します。

<佐野副委員長コメント>

多くの事業がコロナ禍の中で中止、延期が繰り返される中、菊地委員長の思い描く事業のお手伝いが
出来ず悔しさが残る一年間でしたが、限られた環境や時間の中でも前向きに事を進めて行く菊地委員長、
委員会メンバーに励まされた一年間でもありました。若いメンバーの集う委員会でしたが、きっとこの
「当たり前ではない時間」を忘れず、今後の糧としてこれからも経験を積み、近い将来の天童青年会議所
の中心で活躍してくれると信じています。

ブロック大会実行委員会

実行委員長：高橋 和也 部 会 長：佐野 峻也
部 会 長：伊藤 光 部 会 長：武田 康正
部 会 長：黒田 芳徳 部 会 長：森谷 恵一

<事業名>

1. 天童の魅力の発掘、発展を通じた「郷土愛」の醸成
2. 各ファンクションにおける協力体制の確立
3. 県内各地青年会議所会員の相互交流
4. 大会における予算の調整及び会計処理に関する事項の処理
5. 大会に関わる諸団体との連絡及び協力
6. その他

<事業概要>

2. 天童の魅力の発掘、発展を通じた「郷土愛」の醸成

事業名：第54回山形ブロック大会天童大会の主管（例会）

実施日時：2021年7月10日（土）6：15～21：00

場 所：ほほえみの宿滝の湯、松伯亭あづま荘、道の駅天童温泉わくわくランド
緑の迎賓館アンジェリーナ駐車場南側

| | |
|-----------------|--------------|
| 参加者：県内各地会員会議所会員 | 591名 |
| 山形ブロック協議会歴代会長 | 13名 |
| 山形県知事 | 1名（ビデオメッセージ） |
| 天童市長 | 1名 |
| 衆議院議員 | 2名 |
| 参議院議員 | 2名 |
| 天童市議会議長 | 1名 |
| 天童市内来賓 | 8名 |
| たからいち一般来場者 | 1065名 |
| まんぷくフェスタ一般来場者 | 604名 |
| 出店者（19店舗） | 50名 |
| 合 計 | 2338名 |

内 容：新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大幅な計画の変更がありましたが、主催である山形ブロック協議会と協働し開催することが出来ました。主管として独自に行っていたてんどう まんぷく！フェスタは、天童市内においてコロナ禍では初の食を扱った対外事業となり、多くの市民、出店者に好評をいただきました。

2. 各ファンクションにおける協力体制の確立

2-1 実行委員会の組織構築

内 容：ブロック大会の運営において、実行委員会組織を各ファンクションに配置し、担当事業の円滑な運営、及び主催である山形ブロック協議会のサポートを行

う事が出来ました。

【マルシェ部会】 部会長 黒田 芳徳

地域活性化たからいち i n 天童の運営を、山形ブロック協議会と協働して行いました。

【ウェルカム部会】 部会長 佐野 峻也

参加者へ配布するガイドブックの作成や、循環バスの運営を行いました。また、地域活性化たからいち i n 天童内にてインフォメーションブースを設営しました。

【大懇親会部会】 部会長 森谷 恵一

てんどう e a t s の運営と取りまとめを行いました。

【財政部会】 部会長 伊藤 光

てんどう まんぷく！フェスタの運営と財政面の統括を行いました。

【連絡調整部会】 部会長 武田 康正

山形ブロック協議会や各地会員会議所、各種団体との連絡調整を担当しました。また、未来へ向かって～夜空に輝く希望の花火～の運営を行いました。

2-2 ブロック大会実行委員会の開催

内 容：毎月定期的な実行委員会を行うとともに、必要に応じて適宜開催しました。ブロック大会の方向性や事業構築の問題、山形ブロック協議会からの資料の共有など密に行い、大会開催に向けて全員で向き合うことが出来ました。

2-3 ブロック大会実行委員会全体集会

事 業 名：ブロック大会実行委員会全体集会（例会）

実施日時：2021年6月7日（月）18：30～19：43

場 所：将棋むら天童タワー

| | |
|-----------------------------|-----------|
| 参 加 者：LOMメンバー | 28名 |
| 特別会員 | 1名 |
| 山形ブロック協議会会長 鹿俣 貴裕 君 | 1名 |
| 山形ブロック協議会役員 | 9名 |
| <u>山形ブロック協議会ブロック大会運営委員会</u> | <u>7名</u> |
| 合 計 | 46名 |

内 容：LOMメンバーに向けて大会の意義を落とし込み、現在の方向性を関係者に共有することが出来ました。コロナ禍の中ではありましたが、感染対策を行いながら懇親会を開催することもでき、主催と主管の意識を高めることが出来ました。

3. 県内各地青年会議所会員の相互交流

事 業 名：てんどう e a t s（委員会事業）

実施日時：2021年7月10日（土） ブロック大会当日のお渡し

2021年7月12日（月） 各地会員会議所へ配送

参加者：各地会員会議所会員 申し込み数 259個

内容：感染対策の兼ね合いから当初計画していた大懇親会の開催を断念し、天童の特産品やお酒を各地会員会議所会員が自宅で楽しめるよう、詰め合わせセットをてんどう e a t s と題して発信しました。

4. 大会における予算の調整及び会計処理に関する事項の処理

内容：計画段階の予算調整や大会後の支払い、決算について、適正に処理することが出来ました。

5. 大会に関わる諸団体との連絡及び協力

内容：山形ブロック協議会や、ブロック大会運営委員会と連絡調整し、各地会員会議所へのPRキャラバンや大会当日のスケジュール調整など連携することが出来ました。

6. その他

事業名：未来へ向かって～夜空に輝く希望の花火～（委員会事業）

実施日時：2021年7月10日（土） 20：00～20：10

場所：舞鶴山山頂

内容：新型コロナウイルス感染症拡大により、先行きの見えない現状に少しでも希望を届けたいという想いから、花火の打ち上げを行いました。昨年に引き続き舞鶴山山頂から市内広域で観覧出来るよう設え、多くの市民から反響がありました。

<高橋実行委員長コメント>

新型コロナウイルス感染症拡大が続く中、本来の計画通りの開催には至りませんでした。山形ブロック協議会と話し合い協働しながら、最大限の想いを反映した第54回山形ブロック大会天童大会を開催することが出来ました。6月第一例会では、主催である山形ブロック協議会と想いの共有をし、1ヶ月後に控えた大会への意識を高めることが出来ました。コロナ禍ではありましたが、感染対策を万全にして懇親の場を設けることもでき、大会成功に向けて一丸となり向かうための弾みとなりました。7月第一例会、山形ブロック大会では、特に感染爆発が起き例えブロック大会を中止にせざるを得ない状況であっても、LOM独自で開催出来る計画を作成したことが私の中で成功の分岐点だったと感じています。てんどう まんぷく！フェスタ、てんどう e a t s、希望の花火、全てにコロナ禍だからこそその意義があり、実行委員会、そして天童青年会議所の想いが詰まった事業になったと感じています。年初に掲げた、我々の情熱の炎を地域に伝播し、この大会以後で何かが変わると言って貰える設えをしたい。その私の願いは大会成功を持って達成したと感じています。ただ、やり残したこと、もっとやりたかったこと、私の気持ちも含めて次年度主管であるJ C I 酒田へしっかり引継いで参ります。